

# カリフラワー・・・I

担当者 技能研究員 三上 益由

試験課題名	新品種適応試験
目的	カリフラワーの和寒町に適応した品種を選定するために比較検討し普及に資する
期待される成果	高品質で生産が安定できる技術を習得し生産性の向上と収益の増加を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会一般野菜部会

## 1 供試品種・資材

品種

※ バロック(サカタ)	雪まつり(武蔵野種苗)
パールホワイト(武蔵野種苗)	ピュアホワイト(武蔵野種苗)
『美星(サカタ)	スノークラウン(タキイ)
はくすい(サカタ)	参考調査』

※基準品種

## 2 耕種概要

土質～埴壤土

前作～花

播種日～5月21日 定植日～6月14日 収穫日～7月26日

栽植密度～畦幅75cm×株間45cm 2,962株/10a当たり

## 3 土壌診断結果と施肥量

### (1)土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	CaO	熱水抽出N
5.9	0.083	40.7	50.6	106.1	165.4	6.9

### (2)土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル～150kg 堆肥～1,000kg

### (3)施肥内容 (成分量/%)

基肥～NS262(16-10-14) 6月11日 全層施肥

### (4)肥料の要素量

(kg/10a)

	N	P	K
基肥 NS262 100kg	16.0	10.0	14.0
合計	16.0	10.0	14.0

## 4 調査項目

生育調査～播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・出蕾期

生育(出蕾期)・収穫期・生育日数

収量調査～平均花蕾重・総重量・調整重・慣行比・規格別割合・病害虫

特性調査～外観(形状・しまり・色・凹凸・花蕾の包葉)

## 5 生育調査

項目	品種	バロック	雪まつり	パールホワイト	ピュアホワイト	美星	スノークラウン	はくすい
播種日		5月21日				5月21日		
発芽期		6月1日				6月3日	6月2日	6月1日
発芽率(%)		98.5	98.4	97.4	94.7	92.6	99.7	97.6
定植日		6月14日				6月14日		
定植時の苗質	葉数(枚)	2.3	2.2	2.5	2.7	2.5	3.1	2.9
	苗の全長(cm)	12.1	12.6	14.5	13.7	10.4	13.7	14.1
出蕾期		7月17日	7月13日	7月12日	7月13日	7月13日	7月17日	7月17日
生育(出蕾期)	葉数(枚)	18.8	17.3	17.7	14.9	16.8	17.7	20.1
	葉長(cm)	50.1	45.0	44.1	35.6	43.6	62.2	54.8
収穫期		7月26日	7月26日	7月26日	7月26日	7月26日	7月26日	7月26日
生育日数		66日	66日	66日	66日	66日	66日	66日

## 6 収量調査

項目	品種	バロック	雪まつり	パールホワイト	ピュアホワイト	美星	スノークラウン	はくすい
総重量(kg/10a)		4,487	5,361	2,962	2,207	5,139	6,428	7,020
調整重(kg/10a)		2,242	2,681	1,481	1,102	2,568	3,214	3,510
平均花蕾重(g/個)		757	905	500	372	867	1,085	1,185
慣行比(%)		100	120	66	49	115	143	157
規格別割合(%)	2L以上	60	90	0	0	90	100	100
	L	30	10	20	0	10	0	0
	M	10	0	30	20	0	0	0
	M未満	0	0	30	40	0	0	0
	規格外	0	0	20	40	0	0	0
病虫害(無0~4甚)		1	1	1	1	1	1	1

※規格 2L 800~1000g以上 L 650~799g

M 500~649g

## 7 特性調査

項目	品種	バロック	雪まつり	パールホワイト	ピュアホワイト	美星	スノークラウン	はくすい
外観	形状(良5~1不良)	3	3	3	3	3	3	3
	しまり(良5~1不良)	3	3	3	4	4	4	3
	色(良5~1不良)	3	3	3	3	3	3	3
	凹凸(良5~1不良)	3	3	3	3	3	3	3
	花蕾の包葉(良5~1不良)	3	2	3	3	2	4	3

## 8 防除歴

殺虫剤	6月14日	オンコルマイクロカプセル	200倍	7月25日	エルサン乳剤	1,000倍
	7月11日	エルサン乳剤	1,000倍			

## 9 試験結果概要

### (1) 生育経過

- ① 育苗は5月21日に128穴セル成型トレーに播種をし、バロック他4品種が6月1日に発芽期を迎え、6月2日にスノークラウン3日に美星となった。発芽率は全品種92.6%以上と良好であった。
- ② 定植は全品種とも6月14日に行った。定植時の苗質調査で葉数はスノークラウンが3.1枚・はくすい2.9枚・ピュアホワイトは2.7枚で、他の品種は2.5枚以下となった。苗の全長ではパールホワイトが14.5cm・はくすいは14.1cm・続いてスノークラウンとピュアホワイトが13.7cmと良好であった。
- ③ 出蕾期では、最も早かったのがパールホワイトの7月12日、それに続いて雪まつり・ピュアホワイト・美星が7月13日、バロック・スノークラウン・はくすいは少し遅れて7月17日となった。
- ④ 出蕾期の生育調査で、葉数が最も多かったのははくすいで20.1枚。最も少なかったのは、ピュアホワイトで14.9枚となった。葉長はスノークラウンが62.2cmと最も大きく、ピュアホワイトは35.6cmと最も小さかった。

### (2) 収量調査

- ① 総重量は、はくすいが7,020kg/10aと最も高く、それに続いてスノークラウン>雪まつり>美星>バロック>パールホワイト>ピュアホワイトの順になった。
- ② 調整重でも、はくすいの3,510kg/10aが最も高い結果となった。平均花蕾重では、はくすい1,185g・スノークラウン1,085g・雪まつり905g・美星867g・バロック757g・パールホワイト500gとなり、ピュアホワイトはMサイズに届かない372gとなった。
- ③ 規格別割合では、スノークラウンとはくすいが2L以上のサイズが100%、雪まつりと美星が90%となったが、パールホワイトとピュアホワイトは全てがL以下のサイズとなり規格外も多かった。

### (3) 特性調査

外観では、バロックを基準品種として、雪まつりは花蕾の包葉が2(良5~1不良)となった。美星も包葉で2となったが、しまりは硬くピュアホワイトとともに4となった。スノークラウンは、しまり・包葉ともに4となり基準品種より優れた結果となった。

### (4) 考察

基準品種のバロックに対して、スノークラウンは収量・外観ともに高評価であった。また、はくすいは外観はバロックと同評価ではあったが、収量面では大きく上回り、これも今後有望な品種であると考えられる。

19年は着色花蕾がやや多くあったので、次年度においては、品質向上のため縛葉作業・収穫時期を見極め、適期管理作業に努めたい。